

## 2015年度 中央大学特定課題研究費 — 研究報告書 —

所属	商学部	身分	教授
氏名	関口 定一		
NAME	Sekiguchi, Teiichi		

## 1. 研究課題

（和文）社員制度と人事労務管理システムに関する比較史的研究

（英文）A Comparative Study of Employment and Personnel Systems

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究は、これまでほとんど検閲されてこなかった、企業における社員制度と人事労務管理システムとの関係を、日本とアメリカの社員制度の歴史的な形成発展のプロセスに焦点を合わせて比較研究を行った。

具体的には、

- ①社員制度の相違が人事労務管理システムの相違に与える影響、
- ②人事労務管理の発展変化が社員制度の産結みによって制約されるメカニズム、
- ③企業の人事労務管理の基本的な理念や方針の転換が、社員制度の変容を促すプロセス、などを明らかをすることを課題として研究を行った。

今回の研究期間中は、アメリカにおける第二次世界大戦後、～1950年代の時期、米国における1980年代、日本における1990年代後半から2000年代前半の時期を主な対象にして、企業の文書資料を中心に分析を行った。

（英文）

This research project was focusing to explore the relationship between corporate employment systems and personnel management through examining the historical documents published by firms in the US and Japan. In the process of the research, it became clear that the corporate employment system (Shain- Seido) have been fundamental factor which makes the differences in the personnel management systems of the US and Japanese large firms.